

磐城時報

編輯 石城郡平町新屋町十四
印刷 石城郡平町新屋町十四
發行 石城郡平町新屋町十四
電話 石城郡平町新屋町十四
定額 一月一元 三月三元 半年五元 一年十元
廣告料 一行四字 一月一元 一月一元
印刷 石城郡平町新屋町十四
電話 石城郡平町新屋町十四

爲替偽造犯人は 一見會社員風の男 頗る巧妙なやり方

去る五月十八日平町新川町郵便訓練所主事會議を開き振興のた局に於て同町古着商銀木榮吉に各種事項の協議を遂げ併せて拂ひ出した二十圓の小爲替は指導員講習會を開く事となつたの後仙臺貯局で調査の結果水戸講師は縣社會教育主事の修身及市下市局振出しの二十圓の爲替公民科と教練科の連絡に關するを巧みに改竄したものである事講演縣嘱託の訓練指導官又は中を發見したので平警察署に急報等學校配屬將練の教練の實察にすると同時に全國郵便局に手配關する講演がある(各所とも午したが改竄した爲替を見るに頗る八時から午後四時まで)

▲十四日 磐城中等學校(石城郡平、江名、小名濱、四倉、夏井、高久、豊間、神谷、草野、大浦、大野第一同第二、平窪、小川、川前、桶賣、上三坂、中三坂、下三坂、澤渡、差塩、磐城セメント、双葉郡久、濱▲十四日 平商業學校(石城郡植田、勿來、泉、渡邊、山田、錦、上遠野、入遠野、川部、七錢に値下したが、本六月より田人、飯野、鹿島、玉川、警更に六錢に値下する事に決した

中野吳服店の番頭 列車に百圓置忘る

平町三丁目中野吳服店川田壽治ガパンが発見された。が二日植田町に集金に赴き午後一時二十分植田驛發列車で湯本町に下車したが後になつて百圓入のカバンを列車内に置き忘れ來た事に気がつき驚いて平驛十八馬力排水三百ガロンを購

青年訓練所 主事會議

來る七月一日は青年訓練所創立の滿五週年記念に相當するので並に平警察署に届け出たが列入する事になつたので今後の消

續々賣り物となる 常磐の群小炭礦

石城郡下に於ける各炭礦は鐵道迎來する七日平町谷口樓に開催納炭の減少並に價格の引下げ等するが、競技は午前十時開始、により非常なる打撃を受けつゝ午後六時終了の豫定である。會あり磐城炭礦の如き大炭礦では費二圓一般參會を歓迎すること。既に二百余名の從業員の大誠首肯は同會の規定左の如しを斷行した始末であるが一方五

追善碁會

故谷口仁太郎氏追善碁會は既報の如く福島市から本間二段等を

豊間と四倉の大敷網豊漁

石城郡各濱は鯉漁に入つたのでの如く決定した。(順不同)俄かに活況を呈して來た事既報の如くであるが、二日午後七時頃豊間村大敷網一千二百貫の

磐陽野球 後援會役員

平町磐陽野球後援會では役員左平町長橋町小沼春吉次男小沼次

暴れる次男 平署に留置

平町磐陽野球後援會では役員左平町長橋町小沼春吉次男小沼次

縣下中等學校野球大會 第三回大會豫告

本社主催に係る第三回中等學校野球大會は來る六月二十日、二十一日兩日平町磐城中學校球場に於て舉行、參加校其他左の如くに候

- 一、日時 六月二十日(土)同二十一日(日)
- 二、日間
- 一、會場 磐城中學校球場
- 一、參加校 (申込順) 双葉中學校 磐城中學校 平商業學校 田村中學校 安積中學校 相馬中學校

- 一、試合方法 トーナメント式による。二十日午前零時半選手入場式、同一時第一回戰開始、二十一日午前八時第二回戰開始、午後二時半決勝戰開始。
- (ゲームは第一回戰第二回戰七回、決勝戰九回)
- 一、選手宿舍 住吉屋本店
- 一、試合球 オール、ジャパン、リーグボール

主催 磐城時報社

川柳 上下を月賦で飾る會社員 つんのめるやうに清水を呑んで居る 席題吉 劍突坊選 吉日と見へて芽出度い人通り 飲仲間吉日にして誘ひに來る 秀逸 文 狂 新 平

